

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 宮尾 紘 司  
 幹事 水谷 祥 督  
 広報・会報委員長 伊藤 健 文

No. 36

### ロータリーは分かちあいの心

### ROTARY SHARES

2007~2008年度 RI会長 ウィルフリッド J.ウィルキンソン

きょうの例会  
 第1227回 平成20年5月27日(火)  
 友愛の日  
 先週の記録  
 第1226回 平成20年5月20日(火) 晴

#### ◆“我等の生業”

◆ビジター紹介 仙台東RC 吉田龍八郎君

#### ◆ゲスト紹介

中日新聞社取締役事業担当兼事業局長 高坂 毅様  
保健衛生大学5年生(渡邊君ゲスト) 山下通教君

#### ◆出席報告

会員	61 (54) 名	出席	40名
出席率	75.47 %		
前々回	4月22日(修正出席率)	86.54 %	

#### 水谷幹事報告

1) 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので理事役員の方は2階オーキッドルームにお集まりください。

#### 舎人副会長挨拶

天台宗 桓武天皇の時代

比叡山延暦寺を本山とする、宗祖伝教大師(最澄) 經典 妙法蓮華経・梵網菩薩戒経・大日経 その他 寺院数 3,318

比叡山一京都市と滋賀県大津市との境界をなす山地、東の大比叡ヶ岳と西の四明ヶ岳の二峰に分かれる山頂からは、東は琵琶湖をへだてて湖東湖西方面、西は丹波高地と京都市内、南は山城から大阪方面を望むことができる。

古くから山岳信仰の対象となり鎮護国家の霊山としてあがめられていた。

788年最澄は一乗止観院(現在の根本中堂)を創立し、みずから刻んだ薬師如来像を安置して比叡山と号した。これが比叡山延暦寺のはじまりである。

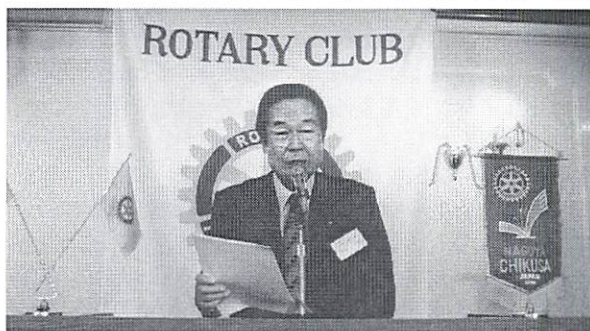
延暦寺とは三塔十六谷に点在する堂塔の総称である(根本中堂のある東塔、釈迦堂のある西塔、横川中堂のある横川の三塔)。比叡山そのものが延暦寺であったこの山の自然諸堂そこで修行する人訪れる人のす

べてが仏教教団を形づくり、つまりこの世に存在するすべてのものに仏性を見出す(一乗仏教の教をあらわしている)。

法然、親鸞、栄西、道元、日蓮…各宗祖師も山で学ばれている。

#### ◆講演 “新聞社の事業について”

中日新聞社取締役事業担当兼事業局長 高坂 毅様



私は、昭和42年に入社、志望どおり事業部門に配属されました。当時は高度経済成長下。暮らしにもゆとりが生まれつつあり、これからはレジャーの時代かなという、漠然とし予感がありました。事業志望の動機でもあります。以来41年間、イベントに携ってきました。兄弟、友人などからたびたび言われることがあります。「お前はいいなあ、遊んで給料貰っているようなものだ」と。ちょっと違います。遊ぶのではなく、遊ばせてきた、「遊び」を生み出してきた訳であります。

名古屋本社には事業局と文化芸能局の二つの事業部門があります。事業局にはスポーツ事業、社会事業、文化事業の3部があり、文化芸能局は中日劇場と文化センターを運営しています。

スタートはスポーツ事業部です。大相撲名古屋場所、中日クラウンズトーナメント、少年野球、勤労青少年のためのハイキング、スキー大会などを担当しました。

2年間のスポーツ事業の後には社会事業部。10年在籍、まがりなりにも事業マンとしての基本をここで習得しました。この部のジャンルは幅広く新商品の見本市、囲碁・将棋・釣り等の趣味・娯楽イベント、農林水産関係事業、長島温泉や犬山モンキーパークの遊園地イベントなど「なんでも屋」です。

昭和53年、文化事業部に移り20年在籍しました。美術、音楽、芸能、教育、華道、茶道など文化全般が守備範囲。なかでも美術展の企画・開催に明け暮れしま

した。国内の美術品を展示するだけではありません。欧米から、中国、韓国など東洋各国から美術品を借りるため、毎年のように海外へも出かけました。ひとり、五つも六つもの展覧会の準備、運営を同時進行させるのは当たり前ということもありました。

平成10年、31年間在職した事業局から文化芸能局に移りました。日本の新聞社で直営の大劇場を持ち、年間を通して興行を打っているのは中日新聞社だけです。1ヶ月公演を年間8～9本、1日だけ、或いは1週間程度の短期公演も10数本舞台に乗せます。劇場の運営は、興行です。良質な芝居を提供していればよしではありません。ソロバン勘定が必要です。営業の重要度を身にしみて体験しました。

中日文化センターは愛知、岐阜、三重、静岡、長野、滋賀の中部6県に20センター。約4,000講座を開講、5万人強の会員を擁しています。その中核が中日ビルの「栄中日文化センター」で、1,100講座、2万3,000人の受講者です。「教養・技能講座」「美術・芸術講座」「伝統芸能講座」「お稽古ごと講座」「趣味手工芸講座」、さらに社交ダンスからクラシックバレエなどキラ星のごとくです。子育て、マッサージ、手話、漢方薬の講座もあります。

平成15年、古巣の事業局に、事業局長としてでもどりました。2年後には愛知万博が迫っておりました。万博記念イベントを企画せよ、実施せよとの特命です。直ちに局内にプロジェクトチームをつくって企画を練りました。会場内では、大相撲万博場所、万博ど祭り、万博能など大型イベントを開催して万博への集客の一翼を担いました。万博の外では、金鯱を降ろして120万人を動員した名古屋城博、50万人を集めたゴッホ展などの大型美術展を連続開催しました。そのほか長良川での世界ボート選手権など20以上の万博記念イベントを実施し、愛知万博を会場の外から盛り上げました。

中日新聞は何のために事業を、イベントをするのかです。新聞社は、国内外の、政治、経済、社会、文化、スポーツなど様々な「情報」を活字で提供します。このような情報発信といえ、イベントも情報メディアのひとつなのです。名古屋場所では、実物の相撲を体験できます。美術展では本物の名画を目のあたりにできます。中日劇場では名優の息遣いに酔い、文化センターでは画家講師の筆使いに接することができます。「体感」できる情報、「なま」の情報の提供を目指している訳です。企業としての新聞経営戦略への貢献も事業の使命です。イベントを通して地域或いは読者との連携を深め、読者の維持、拡大のアシストをします。広告増収につながるイベントも企画します。

イベントは新聞社の専売特許ではありません。イベントを企画し、運営する主催者は、国、地方自治体、企業、団体、グループ、個人と千差万別です。愛知万博は国・県が主導するイベント、誕生日に外食とくれば、我が家主催のイベントです。本席は千種ロータリークラブの月例イベントということになる訳です。

様々なイベントがありますが、どのイベントにも共

通することは、私の一貫した信念ですが、イベント会場は「遊び」が提供される空間ということです。

人々を都市に集積させる吸引力、それは「遊び」です。世界一の大都市ニューヨークは国際政治・経済の中心です。しかし、それ以上に人々を魅了するのは、そこには、「遊び」のエネルギーが充満しているからです。ブロードウェイのミュージカル劇場をはじめ、歌劇場、美術館、ライブハウス、ティファニーなど五番街でのショッピング、セントラルパークでの憩いと安らぎなどなど。ニューヨークの摩天楼は、まさに「遊び」の坩堝です。

江戸は、「花のお江戸」と歌われました。両国の大相撲、幾つもの芝居茶屋、隅田川の花火など、町民の娯楽、年中行事の数々が繰り広げられ、当時としては世界有数の100万人都市が形成されました。人々は「遊び」を求めて文化都市・江戸へと集まってきました。

「遊び」という言葉は単純ではありません。ぶらぶらと怠ける、役に立っていない、酒色に耽る、の意味もあります。「遊び」は、そんな負のイメージだけではありません。「遊び心」を知る人は、仕事も一流なのです。暮らしの中のゆとり、人生を楽しく、豊かに彩る付加価値です。余りの時間ではなく、「遊び」は、生きた時間です。

高度成長をリードしたのは洗濯機、冷蔵庫、テレビ、カー、クーラー等ですが、いずれにも、レジャー時代へのイメージ、「遊び」の時代への予感があります。家電製品にしる、車にしる、情報革命にしる、人間の英知を結集した殆どの技術革新が、経済活動の大きな部分が「遊び」の道具、「遊び」のためのツールを開発している訳です。ソニーの出井元会長は、わが社の企業戦略は「遊び」である、と明確に語っています。主力商品のテレビ、プレイステーション、ビデオカメラ、パソコン、ウォークマンなど殆どが、「遊び」のためのツールです。

生きていくための最低限の衣食住を超えるもの、例えばファッションへの希求、美味の追求、インテリアへの拘り。全て「遊び」の領域です。人類の歩みは、「遊び」、言い換えれば、文化の多様化、その領域拡大の歩みであった訳です。

新聞社の事業、イベントは「遊び」を創造します。イベントスタッフは「遊び」の生産者です。「遊び」の種類、スタイル、目的、関わり方、考え方など「遊び」は時代の歩みとともに変遷してきました。時代、時代に依じての「遊び」を生み出す努力を続けていく人が、二十一世紀に活躍できるイベントプロデューサーである、と思っています。

#### ●5月度理事議題

- 1) 退会願提出の件。  
紺矢寛朗君・森 幸一君
- 2) 規定集改正作成の件。
- 3) 新入会員マニュアル作成の件。
- 4) 次年度例会会場使用(点鐘・旗等)移動の件。
- 5) 親睦(春季家族会)決算の件。

次回例会

平成20年6月3日(火)

“会社人生での思い出深きこと”  
“私の仕事について”

会員 佐々木敏夫君

会員 鈴木 聖三君